

様式第2号（第3条関係）

平成30年9月27日

篠山市議会議長 様

会派名

代表者名

又は会派無所属議員の氏名 向井 千尋



政務活動報告書

この度の政務活動を下記のとおり報告します。

記

1. 活動の種類： 視察調査 ・ 研修 ・ 広報広聴活動
その他（ ）
2. 活動期間： 平成30年8月20日
3. 場所： 丹波市役所 丹波市氷上町成松字甲賀1番地
4. 活動者： 向井千尋
5. 活動の概要： 別紙参照
6. 考察： 別紙参照
7. 活動に要した費用：

費目	詳細	金額	備考
視察調査費	車賃	981	65.4km（自宅～丹波市役所） 65.4km/10km/ℓ*150円

政務活動調査研究報告書

報告者	向井千尋
日時、場所	2018年8月20日（月）午前10時から11時 丹波市役所
調査研究名	丹波市男女共同参画センター設置計画について
	<p><u>丹波市鬼頭哲也副市長、小畠崇史市民活動係長からヒヤリング</u></p> <p>・地方創生に基づく総合戦略に係る取り組みの一環として、人口減少・少子高齢社会に向けた政策として、市民プラザ設立を位置づけている。人口減少は、避けられない現象である。人口を維持増加させていくことよりも、人口が減少しても市民一人ひとりが活躍できる場を創り、能力を発揮することがまちの活力維持に繋がる。逆に、人口が多くても活躍できる人が少なければ活力があるとはいえない。女性が持っている能力を発揮できるまちこそが人口減少を克服することができるのではないかと考えている。今まで能力を十分に発揮することができていない女性や障がい者など、活躍できる人を増やすことが重要。</p> <p>NPO 法人等の団体が活動しやすいようにすることが市民プラザ（市民活動支援センター・男女共同参画センター）の役割である。</p> <p>・谷口市長は「期限を切ろう」と言っていて、2020年の東京オリンピックを節目として、その前年の2019年を「ターニングイヤー」にしようとしている。現在、同時進行的に以下の主要政策を実現している。まずは、県立医療センター（320床）について、中核医療を担い、医療と福祉の拠点として、プロジェクトを作り進展中である。次に、農業の担い手確保として、「農の学校」を2019年4月に開設予定。そして、観光拠点としての施設を柏原町に、また、水別れ資料館の開設も進めている。大きな柱として市民プラザを位置づけている。市民プラザの場所は、市内商業施設内の予定。公募でゆめタウンと決定している。既に審議会で公表している。</p> <p>・市民活動支援センターは中間支援 NPO 法人に委託予定。男女共同参画センターは、政策拠点としての役割もあることから直営で考えている。</p> <p><u>考察</u></p> <p>端的に要点を教授いただいた。明確なビジョンに基づく政策に学ぶところがあり、今後の事業実施に期待が膨らむ。市民活動センターについては、本市の市民プラザを視察されており、今後もともに学び合いたいと思う。</p>